練馬区立南田中小学校 校長 原田 知樹

#### 新型コロナウイルス感染症対応についてのお願い

日頃より、本校の教育活動にご理解、ご協働をいただき、ありがとうございます。 本校では、新学期という子供たちにとって重要な時期を目前に控え、新年度からの学校を再開するための準備をすすめています。

子供たちに対し、手洗い(登校時や給食前、体育の授業後、外遊びの後、トイレの使用後など)や、咳エチケット(ティッシュ・ハンカチや袖で口・鼻を覆う、マスクの着用など)の励行について指導するとともに、校舎内の換気など、校内環境を整え、学校生活を安全に送れるように対応していきます。

都内における、感染状況が拡大傾向にある中、学校での感染リスクをより低減させる ためには、ご家庭における感染予防や健康管理が重要になります。下記の点に留意い ただき、不要不急の外出を控えるようお願いいたします。

記

- 1 ご家庭における児童生徒の健康管理
  - (1) 毎日、登校前に検温の実施と風邪症状の確認をしてください。 (37.5 度以上の発熱、咳、のどの痛み、くしゃみ、鼻水、倦怠感、息苦しさ等)
  - (2) 発熱等の風邪の症状がみられる児童生徒等については、自宅で休養させてください。
- 2 ご家庭(ご家族全員)における感染予防
  - (1) 手洗いや咳エチケットを徹底してください。(2、3ページ参照)
  - (2) 免疫力を高めるため、十分な睡眠、適度な運動やバランスの取れた食事を心がけてください。
  - (3) 家庭内で感染を広げないよう、換気や消毒を実施してください。

(4、5ページ参照)

3 外出時の配慮について

学校では、子供たちに対し、不要不急の外出を控えるとともに、外出する場合においても、集団感染リスクである3つの条件(①換気の悪い密閉空間、②人が密集、③ 近距離での会話等が重なる場を避けるよう指導しており、この点についても、各ご家庭において特段の配慮をお願いいたします。

- 4 児童生徒やご家族が新型コロナウイルスに感染したことが判明した場合や、保健所から濃厚接触者と特定された場合には、速やかに学校にご連絡ください。
  - ※ 国内の感染状況では、御両親や祖父母が感染した後に子どもへ感染する例が認められています。また、若者世代は、新型コロナウイルス感染による重症化リスクは低いですが、このウイルスの特徴のせいで、こうした症状の軽い人が、重症化するリスクの高い人に感染を広めてしまう可能性があります。

家庭内全体で感染症対策と健康管理の徹底をお願いします。

【問い合わせ】 練馬区立南田中小学校 副校長 三浦 寛朗 TEL 3997-1145



新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、 「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

ドアノブや電車のつり革など様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着している可能性があります。

**外出先からの帰宅時**や**調理の前後、食事前**などこまめに手 を洗います。

## 正しい手の洗い方



流水でよく手をぬらした後、石けんを つけ、手のひらをよくこすります。



指の間を洗います。



・爪は短く切っておきましょう ・時計や指輪は外しておきましょう



手の甲をのばすようにこすります。



親指と手のひらをねじり洗いします。



指先・爪の間を念入りにこすります。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、 清潔なタオルやペーパータオルで よく拭き取って乾かします。





厚労省



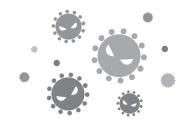
# 攻エチケット

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、 「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

### ■ ほかの人にうつさないために

くしゃみや咳が出るときは、飛沫にウイルスを含んでいるかも しれません。次のような咳エチケットを心がけましょう。

- ·マスクを着用します。
- ·ティッシュなどで**鼻と口を覆います**。
- ・とっさの時は袖や上着の内側で覆います。
- ·周囲の人から**なるべく離れます**。



## 3つの咳エチケット 電車や職場、学校など 人が集まるところでや

人が集まるところでやろう



マスクを着用する (□・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで □・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う



何もせずに 咳やくしゃみをする

咳やくしゃみを 手でおさえる

### 正しいマスクの着用



鼻と口の両方を 確実に覆う



2 ゴムひもを 耳にかける



隙間がないよう 鼻まで覆う





厚労省





## ご家族に新型コロナウイルス感染が疑われる場合 家庭内でご注意いただきたいこと ~8つのポイント~

(一般社団法人日本環境感染学会とりまとめを一部改変) 令和2年3月1日版

#### 部屋を分けましょう

- ◆ 個室にしましょう。 食事や寝るときも別室としてください。
  - ・子どもがいる方、部屋数が少ない場合など、部屋を分けられない場合には、少なくとも 2m以上の距離を保ったり、仕切りやカーテンなどを設置することをお薦めします。
  - ・寝るときは頭の位置を互い違いになるようにしましょう。
- ◆ ご本人は極力部屋から出ないようにしましょう。 トイレ、バスルームなど共有スペースの利用は最小限にしましょう。

#### 感染者のお世話はできるだけ限られた方で。

◆ 心臓、肺、腎臓に持病のある方、糖尿病の方、免疫の低下した方、 妊婦の方などが感染者のお世話をするのは避けてください。

#### マスクをつけましょう

- ◆ 使用したマスクは他の部屋に持ち出さないでください。
- **◆ マスクの表面には触れないようにしてください。**マスクを外す際には、ゴムやひもをつまんで外しましょう。
- ◆ マスクを外した後は必ず石鹸で手を洗いましょう。 (アルコール手指消毒剤でも可)
  - ※マスクが汚れたときは、すぐに新しい清潔な乾燥マスクと交換。
  - ※マスクがないときなどに咳やくしゃみをする際は、ティッシュ等で口と鼻を覆う。

#### こまめに手を洗いましょう

◆ こまめに石鹸で手を洗いましょう、アルコール消毒をしましょう。洗っていない手で目や鼻、口などを触らないようにしてください。



#### 換気をしましょう

◆ **定期的に換気してください。**共有スペースや他の部屋も窓を開け放しにするなど換気しましょう。

#### 手で触れる共有部分を消毒しましょう

- ◆ 共用部分(ドアの取っ手、ノブ、ベッド柵など)は、薄めた市販の家庭用塩素系漂白剤で拭いた後、水拭きしましょう。
  - ・物に付着したウイルスはしばらく生存します。
  - ・家庭用塩素系漂白剤は、主成分が次亜塩素酸ナトリウムであることを確認し、使用量の 目安に従って薄めて使ってください(目安となる濃度は0.05%です(製品の濃度が6%の 場合、水3Lに液を25mlです。))。
- ◆ トイレや洗面所は、通常の家庭用洗剤ですすぎ、家庭用消 毒剤でこまめに消毒しましょう。
  - ・タオル、衣類、食器、箸・スプーンなどは、通常の洗濯や洗浄でかまいません。
  - ・感染者の使用したものを分けて洗う必要はありません。
- **◆ 洗浄前のものを共用しないようにしてください。** 
  - ・特にタオルは、トイレ、洗面所、キッチンなどでは共用しないように注意しましょう。

#### 汚れたリネン、衣服を洗濯しましょう

- ◆ 体液で汚れた衣服、リネンを取り扱う際は、手袋とマスクをつけ、一般的な家庭用洗剤で洗濯し完全に乾かしてください。
  - ・糞便からウイルスが検出されることがあります。

#### ゴミは密閉して捨てましょう

- ◆ 鼻をかんだティッシュはすぐにビニール袋に入れ、室外に 出すときは密閉して捨ててください。その後は直ちに石鹸で手 を洗いましょう。
  - ご本人は外出を避けて下さい。
  - ご家族、同居されている方も熱を測るなど、健康観察をし、不要不急の外出は避け、特に咳や発熱などの症状があるときには、職場などに行かないでください。